

深まり、広がりを見せる

## 学校と地域との連携

令和5年5月29日発行

品川コミュニティ・スクールが全校導入になって6年目となりました。「校区教育協働委員会」での話し合いや実際に教育課程内外で学校支援活動を行う「学校支援地域本部事業」での取り組みによって、地域との連携が深まり、ますます活動の幅が広がっています。昨年行われた連携事業の一端をご紹介します。



### 地域資源を生かした教育課程

大井第一小学校では、これまでも、4年生で学区内にある国の史跡「大森貝塚」について、地域の考古学者から学ぶ授業を行ってきました。

昨年は更に、6年生が「大森貝塚遺跡庭園の活用」を地域課題として、文化観光課に活用法のプレゼン発表を行いました。発表にあたって、事前に地域の方からの意見を聞くために同窓会の方々と少人数で対話を行いました。

子どもたちにとって、コミュニケーションの取り方を学びつつ、地域の一員と感じる新鮮な体験となりました。地域の方々にとっては、地元にある「大森貝塚」の魅力を改めて見直す機会となりました。



### 環境を生かした放課後学習

荏原平塚学園では、地域未来塾の一環として、2～4年生の希望者を対象に、地域の方々が耕している畑や田んぼを生かした「畑の理科教室」を始めました。

地域を学ぶ

指導してくださるのは、近隣のシェア畑アドバイザーの方々。

土に触れながら、畑の手入れや植物の観察を行い、自然への理解を深めています。



地域に貢献する



### 地域への貢献活動

第四日野小学校では、校区教育協働委員会での協議から、児童が地域の公園で、町会・地域の方々と共に、花壇整備に取り組んでいます。この取り組みを通して、子どもたちの達成感、自己有用感が高まり、地域への愛着が高まっています。

町会の方々にとっても、子どもと共に活動することで、取り組みへの活性化が図られています。





## 地域とともに、話し合う

地域とともに

荏原第一中学校では、地域健全育成運営協議会と校区教育協働委員会が合同で、生徒を囲んでの熟議を行いました。

テーマは、「学校生活の心得（校則）」生徒、保護者、教員、地域住民それぞれの立場から、活発な意見交換がなされ、お互いの思いや考えを知るよい機会となりました。



ここにあげた事例以外にも、各学校支援地域本部では、様々な取組を行っています。これまでの様子を、「成果事例集」としてとりまとめていますので、HPからご覧ください。

また、今年度は、「品川コミュニティ・スクール DAY」と称し、「よりよい学校にしていくために」というテーマのもと、拡大校区教育協働委員会の形で、熟議を実施します。詳細は、各校からのお知らせをご覧ください。

## 品川地域未来塾 指導員 募集！

品川区立学校では、品川コミュニティ・スクールの活動の一環として、品川地域未来塾を実施し、子どもたちへ「学びの場」を提供しています。

地域の方々や大学生、講師・指導助手等に指導員としてご登録いただき、主に放課後に行っています。

参加する子どもたちも、指導員によるきめ細やかな少人数の指導に、自身の「成長」を実感しています。

一人一人の課題を解決する上でも、未来塾の必要性は高まっており、多くの指導員を必要としています。

教員免許がない方でも指導員になることができます。ご協力いただける方は、各校までお問い合わせください。

## ボランティア登録のお願い

学校支援地域本部活動の一環として、ボランティアが必要になった時にお声かけしますので、無理のない範囲でご登録ください。なお、登録は随時受け付けております。

詳しくは、活動を希望する学校の学校地域コーディネーターにお問い合わせください。

品川コミュニティ・スクールについて、ホームページで詳細をご紹介します。



品川コミュニティ・スクール

検索



発行・問い合わせ

品川区教育委員会事務局  
指導課学校地域連携係

〒140-8715

東京都品川区広町2-1-36

TEL. 03-5742-6595



## カレンダーを作成しました！

小中グループの連携を深めるため、カレンダーを作成しました。保護者や地域の方々に、地域の学校や地域の予定なども把握いただけるものとなっています。ぜひご活用ください。

